

# ROSを用いたロボットプログラム共同開発

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年09月15日 ～2019年09月24日	インド	IIT, Delhi	・機械機能工学科 ・学部4年生、修士1年生、修士2年生、博士1年生	(芝浦工業大学) 学生9名、TA1名、教員1名 (IIT, Delhi) 学生10名、教員2名	松日楽 信人(機械機能工学科)



図1 集合写真

インド工科大デリー校(IITD)にて、ロボットプログラムの共同開発をテーマとしたグローバルPBLを実施した。本学機械機能工学科からTAを含め9人の学生が参加した。IITDからは、4ラボの学生8名が参加し、4つのグループでそれぞれ移動ロボットに関する課題に取り組んだ。国際標準のロボットプログラムROSを互いに勉強し、基本的な動作の確認ができた。今回、IITD側が学期末であったことから、共同作業の十分な時間を割けなかったが、今後はIITDでも学生が参加しやすいように単位取得コースを検討したいとのことである。今回で2回目であるが年々充実の方向で共同研究も具体的に検討することになった。また、ロボット関連の3研究室の見学や、IITD学生とのTaj Mahalなどへのフィールドトリップのほか、デリー校主催の企業向けの研究交流会Industry Dayも期間中に盛大に開催され見学することができた。PBLに参加した学生は文化の違い、英語力や交渉力などの重要性を再認識することができた。IITDのサポートに大変感謝いたします。



図2 課題の議論



図3 グループワーク



図4 ラボ見学



図5 Industry Day



図6 ミニバスで移動



図7 フィールドトリップ